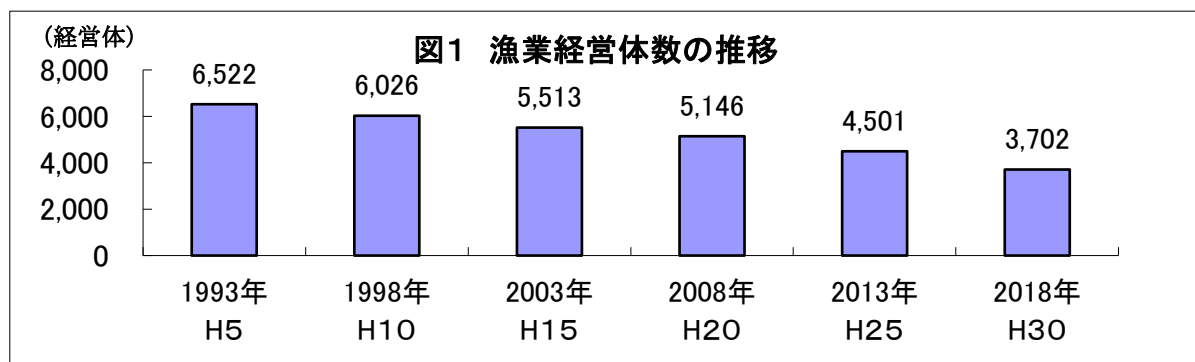


2018年漁業センサスの「海面漁業調査」結果の概要 (概数値)について (平成30年11月1日現在)

平成30年11月1日現在で、県内の沿海22市町村において実施した2018年漁業センサスの海面漁業調査結果の概要をお知らせします。(注：数値はすべて概数)

○漁業経営体数 (全国順位3位：前回(2013年漁業センサス)3位)

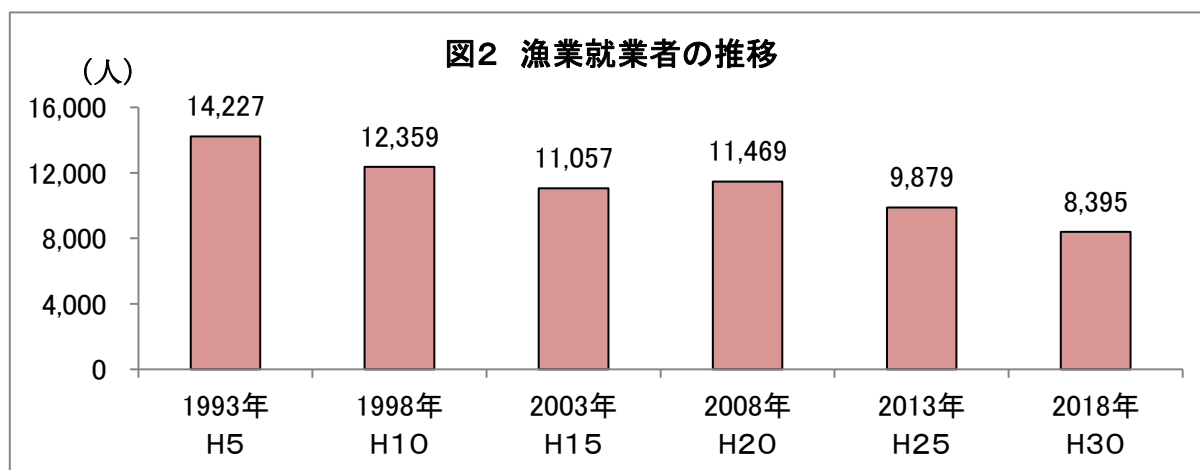
漁業経営体数は3,702経営体で、前回に比べ799経営体(17.8%)減少した。経営体数は、昭和48年(第5次)漁業センサス実施時から減少を続けている。



※漁業経営体とは、過去一年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう。

○漁業就業者数 (全国順位3位：前回3位)

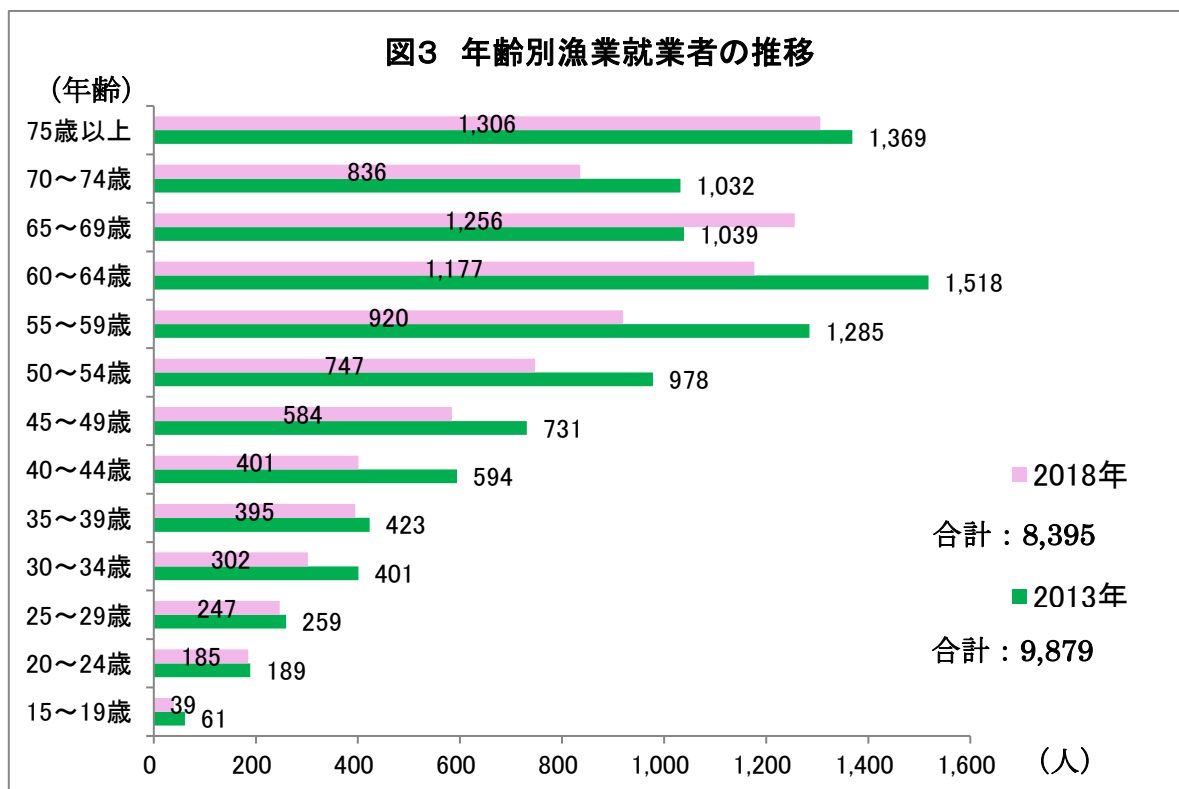
漁業就業者数は8,395人で、前回に比べ1,484人(15.0%)減少した。



※H20年時の就業者数はH15年時よりも増加しているが、これは内訳の「漁業雇われ者」についての把握方法の見直しを行い、非沿岸市町村に居住する漁業雇われ者についても調査対象となったことによるものであり、単純に比較はできない。(以後同様)

○年齢別漁業就業者数

年齢別漁業就業者数は、65歳～69歳で1,256人と前回より217人（20.9%）増加しているほかは、すべての年代で減少している。



○漁船隻数（全国9位：前回6位）

漁船隻数は4,860隻で、前回に比べ920隻（15.9%）減少した。漁船隻数は、昭和63年漁業センサス実施時から減少を続けている。

